

平成30年度 新居浜市母子保健連絡協議会 議事録

日時	平成30年9月21日(金)	13:30~14:30
場所	新居浜市保健センター	
出席者	委員	新谷・加藤・池田・中西・森・関谷・林 近藤・曾我・曾我部・伊達
	事務局	木戸・近藤・石見・黒川ゆ・片山 黒川な・和田・山本
	欠席者	星加
	傍聴者	なし

発言者	内 容
事務局	<p>ただいまから、平成30年度新居浜市母子保健連絡協議会を開催いたします。本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>本協議会は、「新居浜市審議会等の公開に関する要綱」に基づき傍聴席を設けております。本日の傍聴者はございません。また本日は保育協議会の星加委員から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>続きまして今回新しく委員になられた方もいらっしゃいますので自己紹介をお願いいたします。お手元の資料の後ろから2枚目にございます、委員名簿の順にお願い致します。</p> <p>(委員の自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。次に事務局職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>(事務局職員の自己紹介)</p> <p>ではここで本協議会の会長であります、新谷会長に一言ご挨拶をお願いいたします。</p>
新谷会長	(会長あいさつ)
事務局	ありがとうございました。ここからは、新居浜市母子保健連絡協議会設置要綱第5条2項に基づき、これからの議事進行を新谷会長にお願いいたします。
新谷会長	<p>それでは議題に入りたいと思います。</p> <p>議題1 平成30年度母子保健事業計画及び平成29年度実績について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	(平成30年度母子保健事業計画及び平成29年度実績について 説明)
新谷会長	<p>ありがとうございました。今までのことについて、何かご質問やご意見はございますか。</p> <p>全戸訪問事業29年度実績97.5%というのは生後4か月までの訪問率ですか。</p>
事務局	<p>そうです。生後2か月以内には約85%の家庭に訪問できています。里帰りや長期間市外へ滞在している場合や、入院の期間が長いお子さんについては少し遅れての訪問になります。</p>
新谷会長	<p>訪問率ほぼ100%というのはすばらしいですね。よく頑張ってくださいね。1か月健診に来たお母さん方から訪問に来てもらったよとよく聞きます。また、</p>

発言者	内 容
事務局 新谷会長	その話をきっかけにいろいろな話ができますので、すごく助かっています。 ありがとうございます。 他に何かありますでしょうか。なければ次の議題に移りたいと思います。 議題2 新生児聴覚検査について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(新生児聴覚検査について 説明)
新谷会長 加藤副会長	ありがとうございます。このことについて、何かご質問はありますか。 この検査は今新居浜市内の出産が行われているすべての医療機関で受けられるのでしょうか。
事務局 加藤副会長	今、市内で出産ができる病院では検査を受けることができます。 それと検査費用の一部助成ということで2,000円助成ですけれども、ABR、OAEの検査費用は全額ではどのくらいかかるものですか。医療機関によって違うとは思いますが。
新谷会長	現在は全額実費で聴覚検査が行われています。ほとんどABRで行っていて、費用が約4,500円かかっているんですよ。ぜひとも市には5,000円出していただきたいです。他の市では5,000円助成していると聞いたことがあります。新居浜だけ2,000円なのでしょうか。
事務局 加藤副会長	愛媛県下でほとんどが2,000円です。 今検索してみたら他県で4,000円から5,000円出ているところもありますね。
事務局	愛媛県ではほとんどが2,000円で、一部の県境の町になると広域で検査するため2000円でないところもあります。
新谷会長 事務局	これは県単位で決まってるんですか。 そうです。妊婦健診や、乳児一般健康診査と同じような形で愛媛県市町母子保健健康診査事業連絡協議会の方で協議して決定しています。
新谷会長	ということはしっかりお金出してほしいというのはそこに言わないといけないんですね。
事務局	実施体制については広域で実施しますので広域体制を決めて、補助の金額について今年度は初年度ということで、一律2,000円になっています。一部町では町が負担し、全額公費負担のところもありますので、検討が必要だと考えています。
新谷会長	今後検討していただければと思います。
加藤副会長	2,000円の補助では受けにくい方もいらっしゃると思います。
新谷会長	極端な話、僕たちは出産されたお母さん方から許可をもらい聴覚検査を行っています。そうしないと難聴になって気が付いて遅かったではすごく大きなハンデになってしまいます。
事務局	もともと全額自費の形で各医療機関に検査を実施していただいております。開始前に調べたところ、ほとんどの方がすでに検査を受けています。費用については地方交付税措置をされていたというところもありますので今年度から愛媛県では一部公費負担が始まることとなりました。
新谷会長	新生児聴覚検査事業が始まることはありがたいのですが、しっかり費用を出して頂きたいですね。

発言者	内 容
加藤副会長	それと市内に住民票がない里帰りの方は一部助成を受けられないんですよ。新居浜市に住民票がある方が対象になっていますから。
事務局	新居浜市の一部助成の対象にはなりません。新居浜市では県外で検査した場合も、償還払いをするなどして対応しております。おそらく他の市町でも里帰りをする方が結構おられるのでその対応はそれぞれ市町でしていただいていると思います。
新谷会長	妊婦健診も例えば関東から里帰りする場合、住民票のある市町村と契約してそこでやり取りをしていますね。
事務局	妊婦健診と同じような流れで、新生児聴覚検査の里帰りについても新居浜市で産まれた新生児へ対応して頂けたらと思います。
新谷会長	金額に関しては今後要検討ですね。現在実施している新生児聴覚検査の流れとしては、まず生まれてからすぐに実施し、反応ありであったらこの時点で聞こえの心配はありません。反応なしであれば再検査などして1か月健診の段階で必ず県立新居浜病院の耳鼻科の先生に紹介されています。そこでもう一回チェックしてもらって、やはり難聴だろうということだったら、今度は大学病院の耳鼻科に行って難聴の検査とか今は補聴器や人工内耳などいろんな治療があって、それを早めに始めていただくという流れになります。実際ここ10年くらいやっているのですがこの検査によって救われた子は何人もいます。小学生になった時点で、言葉もちゃんと喋れるし、耳の反応も全然問題なく、このような治療をしてもらって困ることなく過ごしている子がいますし、すごくいい事業だと思っています。そういう子たちがハンデなく生きられるのはすばらしいことなので早めに見つけて早めに対処するのはとてもいいことだと思います。
事務局	それで僕たちは県立新居浜病院の耳鼻科には紹介しますが、保健センターの方には受診結果は連絡されていないですよ。
事務局	はい。
新谷会長	県立新居浜病院の耳鼻科に紹介したときには保健センターに連絡した方が良いですか。
事務局	今後は受診券の複写部分に検査結果を書いていただくと、保健センターの方へ返るようになります。
新谷会長	今後このような流れでチェックすることができるようになりますね。
事務局	はい、検査結果を保健センターへ送って頂くようになっていますので、精密検査を受けるようになったお子さんの把握ができます。また、精密検査実施医療機関からも新居浜市に報告いただけるような流れになっています。
新谷会長	じゃあ今後は漏れがないということですね、わかりました。
事務局	発達支援課の方では、聴覚障がいについてなにかありますか。
曾我委員	お手元の方に資料を配らせていただいております。発達支援課の方では新生児聴覚検査後のフォローという意味合いで松山聾学校の先生に来ていただきまして、保護者の方と聞こえ・ことばの相談を月1回ではございますが実施しております。1回の枠が1人当たり1時間、だいたい1日6コマとなっております。今年の対象者ですが、全部で9人おります。幼児が4人、それから小学生が5人となっております。どうしても6コマの枠に入らないので、長期休暇中は小学生を優先するとか、相談枠を調整して行っているところでございます。実は平成23年から先生に来てもらってやっており、それ以前は保護者の方がお子さんを松山まで連れて行く状況でしたので、保

発言者	内 容
新谷会長 曾我委員 新谷会長 曾我委員 新谷会長	<p>護者の負担軽減になっていると感じております。このようなチラシを配り、申込みをいただいています。以上です。</p> <p>相談に来ている子たちは難聴がいつ見つかったのですか。</p> <p>だいたいの方が人工内耳を装着していたり、補聴器を使用しています。</p> <p>新生児聴覚検査で発見され、治療を行う流れにのっているんですね。</p> <p>そういう流れに乗って来ているのではないかなと思います。</p> <p>他に何かご質問はありますか。ありがとうございます。</p> <p>では次の課題に移りたいと思います。</p> <p>議題3 子育て包括支援センターについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(子育て世代包括支援センターについて 説明)</p>
新谷会長 事務局 新谷会長	<p>このことについて、何かご質問やご意見がありましたらお願いします。</p> <p>母子手帳を発行するときには一人一人結構時間がかかるのですか。</p> <p>30分から1時間ぐらいかかっています。</p>
事務局 新谷会長 池田委員	<p>ハイリスク妊婦が25%となっていますが、ハイリスクの3点と言うと、感覚的にもっといような気がします。チェックは大変ですし、フォローはすごい人数で大変だと実感はしております。保健センターの方にはすごいご負担があるのではないかと思います。ただこの事業を実施することで、とてもきめ細かい支援につながっていると思います。ぜひまたよろしく願いいたします。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>では最後に母子保健に関連する機関からご出席いただいておりますので、なにか一言ずつこれからの一年、いままででもいいのでありますでしょうか。</p>
池田委員	<p>保健所の方では直接的な妊産婦さんとの関わりがすごく少なくなっています。私が保健師として新規採用で入った時に比べ元気な母子を見る機会がすごく少なくなっていると感じています。特に保健所は要保護の関係や緊急入院など困難な事例ばかり見ているので、今後はぜひ若い保健師さんたちの人材育成も兼ねて、直接的な健診などいろんな場面で、母子にお会い出来たらなと思っているところです。お願いします。</p>
中西委員 森委員	<p>特にないです。</p> <p>今日たまたま多喜浜に行っていたら、多喜浜の子育てサロンでは一時、お母さんが3名ぐらいしか居なかったのが、今日12名ものお母さんが居て、初めて来られた方が同じマンションの方と今まで面識がなかったけど、ここで初めて顔つなぎができたということで、地域の子育てサロンとして今日は幸せな時間を先ほど過ごさせてもらいました。個人的なことですが、自分の娘の友達が新居浜に嫁いできて、ちょうどおめでたになって、この子育て世代包括支援センターが始まる一番新しい時期にかかるので、これからの新居浜に一人でも幸せなお母さんと赤ちゃんが増えるといいなと思います。</p>
関谷委員	<p>妊婦さんのフォローがしっかりしてきていいなと思います。僕も私事ですが、娘が県外にいて新居浜市はこんなサービスがあると言ったら、娘の住んでいる所では無かったりとか、新居浜市の手厚い取り組みというのが市民の役に立っているんだなと実感がありました。また、児童発達支援事業の中で県立新居浜病院の小児科の先生とも</p>

発言者	内 容
林委員	<p>連携がだいぶ取れてきて、1歳になる前から運動発達のフォローなど件数が最近増えてきて、早期から関わる中でお父さんお母さんの不安の軽減に役立っているんじゃないかなと思います。それでその後1歳半の健診で発達に問題がないと言われるとお母さんホッとされたりするので、そのことを考えるとやっぱり早期からの不安に対する対応が大事だと痛感しております。今回の事業は将来非常に大切な事業になると思います。</p>
近藤委員	<p>うちの保育園の子どもが6月で1歳になったんですが、さきほどの関谷先生のお話のように、はげみ園にお世話になっています。早いかなと思いつつながら、早い時期からはげみ園に週に1度通わせてもらうことが今までなかったのが、フォローが早くなっているなというのは感じます。</p> <p>それと今年の母子保健連絡協議会で電子母子手帳について聞いていましたが、着々と進んでいるのでいいなと思っております。大変だと思いますがよろしく願いいたします。</p>
曾我委員	<p>私は日々子育て広場というお母さんと子どもたちが遊びに来る場所でお母さんたちの悩み事を聞く役割をしていますが、もちろん他愛もない話もありますが、やはり専門機関に繋げないといけない事例もたくさん出てきていますので以前から保健センターの方と連携をしながらお母さんへの支援を行っていました。これからは窓口がしっかりできたので、すまいるステーションさんや他の機関とも連携もとりながら、より一層お母さんたちの支援に努めていきたいなと思います。よろしく願いします。</p>
曾我部委員	<p>子ども発達支援センターの教育部門の保護者会を行っているのですが、その保護者会の一環としまして、明日ですが子ども発達支援センターに通われている子のお母さん、保健センターのこころクラブ卒業児のお母さん方と、ペアレントトレーニングを4回のコースで実施することになっております。</p>
伊達委員	<p>先ほど子育て世代包括支援センターのご説明の中で、子育て支援課にも保健師と看護師の資格を持っている者がサテライトとして配属されております。子育て支援課の窓口でも相談などいろいろな対応させていただきたいと思っております。離れていますがスマイルステーションと一体として動きたいと思っておりますので、子育て支援課の方の窓口にも何かありましたらご相談いただければと思います。</p>
新谷会長	<p>地域福祉課の方で障がいのある方の担当になるのですが、今年新たな動きとしましては医療的ケアが必要な方の協議の場を設置しないといけないという話の中で、県立新居浜病院の大藤先生と牧野先生と協議し、今年度中に協議の場を作るという話になっています。また、医療的ケアが必要なお子さんが県立新居浜病院の小児科に来られるのですが、新居浜市だけでなく、西条市や四国中央市から来られる方もいるなかで、新居浜市だけでなく、西条市も一緒に同じような会を持つような提案をして西条市と一緒に考えるような話が進んでおります。四国中央市の方もという話が出ておりますので、その辺、市としてとなるとなかなか難しいので、医療関係の方からもまた協議を進めてくれるという流れになっています。</p> <p>皆さん日々よくしていただいて、新居浜市は子育てしやすい街であり、子育てしやすい都市10選に入るようになっており、すごいと思います。やっぱり僕たち産婦人科をやっている、分娩数が下がるのは悲しいことですし未来が見えてこないの、一人でも産んでいただけるような市にしたいと思っておりますし、努力はしていきたいと思</p>

発言者	内 容
	<p>っています。</p> <p>一つ市の方にお願いがあるのですが、若宮の小学校の再利用の件です。あれだけ広い土地があり、子育て支援の事業など、いろんなことに活用できる可能性があると思います。いろんな意見があるのは知っているのですが、ぜひとも母子保健に関しても、若宮小学校跡地利用の検討をして頂けたらと思います。いろんなご意見があつて大変みたいですが関わっている方々が少しずつ声をあげて、ぜひともお願いしたいです。僕たちも民間として声を出さないといけないと思いますが、そういう動きがぜひとも実現すればいいなと思っています。ひとつよろしく願いいたします。</p> <p>では他にご意見がないようでしたら、本年度の母子保健連絡協議会を終了します。皆様本日はどうもありがとうございました。</p>